

人権のまちづくりを担っていただいている 地域のみなさん



- ★主な活動
- 地域の人権学習を進めます。
 - 学習会の計画や進行をします
 - 各種研修会に参加します。

西脇 20名	津万 24名	日野 23名	重春 16名	野村 21名	比延 21名	芳田 18名	黒田庄 14名
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

市内各地域において、町や区から依頼され人権学習を進めていただく方々がおられます。それぞれの地域において、互いの人権が大切にされ安全で安心して暮らせるのは、このような人々の地道な活動によるものと思います。

人権教育推進員になって思うこと

「人権教育推進員を通して体験した事」

私は西脇市民になって2年半、人権教育推進員になって2年です。町の一員として役割を果たそう、西脇を知る機会にしよう、断片的な知識しか無い人権について、捉えなおす機会にしよう、と考えました。

2年弱の推進員体験で印象的だったのは聴覚障害者の方々との手話教室で、幾つかの場面を体験して、注意を集める天井照明の明滅に驚き、簡単な会話にも注意力・集中力を動員し、視界の外のモノの接近が分からないと気付かされました。



市外研修では、遠い昔に置かれた状況、環境が現在の生活に影響している現場に心を痛め、教育・救済活動の実践者の足跡には、信仰者の強い使命感を感じました。

色々な手助けを貰いながら、推進員として町別学習会も開かせていただきました。推進員活動を通じて、身近に様々な課題がある事も再確認しました。引き続き色々なご指導や協力を仰ぎながら、一人ひとりが自立して笑顔で暮らせるにはどうすべきかを自身に問いかけながら今後も進めて行きたいと考えます。

津万地区上戸田 人権教育推進員 吉田 高平 さん



「長島愛生園を訪ねて～市外研修会から～」

人権教育推進員となり、3年目を迎えました。様々な研修の機会を与えていただいておりますが、中でも市外研修会は楽しい研修の一つです。

今年度は、長島愛生園でハンセン病について学びました。大学生の時に観た映画『砂の器』に衝撃を受け、村を追われ放浪する父と子の姿に何度も涙しました。その映画の舞台となった「亀嵩」（かめだけ）は、実家から15分、また、原作者である松本清張さんのお父様が同じ町内の出身と知り、映画のテーマであるハンセン病について、ますます興味を持つようになりました。



市外研修の日をワクワクして迎え、当日は学芸員さんの解説に、ハンセン病の歴史や現状を改めて学ぶことができました。実家に帰省した折、松本清張さんの文学碑や映画のロケ記念碑を訪ね、研修の日のことを思い出してみました。

重春地区和田町 人権教育推進員 岡本 悟 さん



学習会の雰囲気や和らげる人権教育推進員の来住修さん

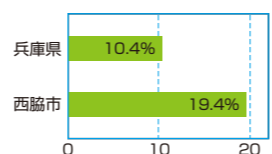


人権学習を進めている結果でしょうか？

2019（令和元）年西脇市人権についての市民意識調査の項目に「人権尊重の考え方に強く影響を受けたもの」との問いがあり多くの選択肢から「町別学習会等」を選んだ人の割合が、兵庫県の調査と比べ西脇市の方が約2倍高い結果になりました。

西脇市が長年取り組んできた人権学習の表れではないかと考えられます。いかがでしょうか。

「町別学習会等」を選んだ人の割合



取組1 西脇市にゆかりのある講師による人権学習会

津万地区 坂本

「防災と人権 ～東日本震災現地ボランティア活動(宮城県)を通して学んだこと～」

講師 西脇北高等学校ボランティア部

○×クイズ

質問 被災者が喜ばれる取組は？

質問 災害対策「何を準備しますか」

★推進員の声

高校生のプレゼンの後に全員が質問に答える学習で、知恵を絞りました。



西脇地区 戎町・重春地区 和布町

「手話体験」

講師 西脇市聴覚障害者協会・手話サークル

★推進員の声

簡単な手話を学ぶと同時に障害について深く学びなごやかな雰囲気の中で交流しました。



日野地区 西田町・羽安町

「伴走伴歩・アイマスク体験」

講師 障害者スポーツ指導員 藤浦 福己さん

★推進員の声

熱のある話。体験は初めてで怖かった。「声が頼り」なのがよくなりました。



黒田庄地区

「すべての社員がいきいきと働ける職場づくり」

講師 株式会社西脇工場 飛田 平さん 寺根 久美さん

★参加者の声

外国人や障害のある人など多様な人と共に働く職場づくりに努めておられることが分かりました。



「ともに生きる～わたしたちからの発信～」

講師 就労継続支援B型ドリームボール 竹本 武志さん

★参加者の声

一生懸命生きている姿に大変感動しました。



西脇地区 北本町

「障害がある」ってどういうこと？

講師 西脇市障害者相談支援センター ういーぶねっと 藤井 志帆さん

★推進員の声

障害をみつめる機会となりました。合理的配慮に関心をもちました。



比延地区 上比延町

「川柳づくりを通じて人権を考える」

講師 内橋 実三郎さん

★推進員の声

自分も川柳づくりを楽しみながら、人権について考えることができました。



市内各地区

「高齢者・認知症を考える」

講師 正峰会グループ（大山記念病院他） 岡本 さとみさん 宮下 京子さん 藤原 八穂さん 萩原 ひろみさん

★参加者の声

認知症の理解と認知症予防について学びを深めました。住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会であってほしいと願います。



取組2 学びが深まるDVD視聴による人権学習会

芳田地区

「生き方について」

DVD視聴 「君が、いるから」 年間3回ほど人権学習会をしています。現代的課題や関心事を踏まえて実施しています。

★参加者の声

若い世代の悩みに向き合って、地域や家族が支えることの大切さを知ることができました。



比延地区 高嶋町

「部落差別と障害者差別」

DVD視聴 タイトル「結婚差別400事例」 タイトル「障害のある人と人権」 2つのDVDを視聴して、それぞれの感想や意見を述べ合いながら、人権について学習しました。

★推進員の声

焦点化できないのではと不安だったが、やってみて活発な話し合いになりました。

